

評価事業名	地域の教育力の向上			整理No	2
担当課	教育総務課	評価責任者	教育総務課長事務取扱 教育総務部参事 山根 斎	作成者	折田 稔

1. 事業の目的・目標

Do

事業の目的／根拠法令等	豊島区の教育施策推進のために地域・保護者・関係団体との緊密な連携・協力関係を築き、地域コミュニティの健全な発達を促進する。
事業の目標	地域・保護者・関係団体との緊密な連携・協力関係を築く。

2. 目標に対する達成状況

達成度指標名 (算定式等指標の説明)	ベースライン (設定年度)	実績			目標値 (目標年度)	目標値に対する現在の達成度	目標設定の考え方
		19年度	20年度	19-20年度の改善率			
外部指導員派遣回数	1,826 (18年度)	1,887	2,286	21%	2,286 (22年度)	100%	派遣希望が多いため、予算の範囲内の上限までとした。
放課後子ども教室参加人数 (1ヶ所当たり平均回数)		1,045	1,218	17%	1,200 (22年度)	102%	1回の参加人数を15人とした。

3. 事業概要

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育タウンミーティング:教育行政に関するテーマについて教育長、教育総務部長、関係各課長が出席し、意見交換を行う。</li> <li>・部活動外部指導員派遣事業:中学校の部活動に外部指導員を派遣し、部活動の活性化を図る。</li> <li>・PTA育成事業:PTA活動の活性化を図るため、PTAの会員相互の情報交換を行うとともに、PTA活動のあり方や運営方法について研究する。</li> <li>・放課後子ども教室:地域の特技・資格のある人や活動の安全を図る人材を確保し、スポーツ・文化活動など様々なジャンルのプログラムを児童に提供する。</li> </ul>		
運営形態	1. 直営	委託の内容	
20年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育タウンミーティング:西池袋中学校1校実施</li> <li>・部活動外部指導員派遣事業:1校につき45回分増やした。</li> <li>・PTA育成事業:PTA活動の活性化を図るため、PTAの会員相互の情報交換を行うとともに、PTA活動のあり方や運営方法について研究する。</li> <li>・放課後子ども教室:池袋第一小学校、椎名町小学校スキップ導入に伴い、放課後子ども教室を実施した。</li> </ul>	関連する部署・外部団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育タウンミーティング:学校運営課、学校施設課、教育指導課</li> <li>・放課後子ども教室:子ども課</li> </ul>

4. 主な取り組み内容

項目	18年度	19年度	20年度	事業をとりまく外部環境の変化
教育タウンミーティング開催回数	3回	2回	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育タウンミーティング:子どもたちや保護者にとって、もっとも身近な地域の学校である区立学校を、より広く知ってもらうためには、教育行政に対する様々な意見や要望を聞き、教育委員会の取り組みを知ってもらうことは重要なことである。</li> <li>・部活動外部指導員派遣事業:顧問教員の人事異動に伴い、部活動が休部、または廃部にならず、継続できるように各校1部活1人の指導員を割り当てているが、試合等校外に出る場合や部員数が多い場合、複数の指導員が必要になることがある。</li> <li>・PTA育成事業:新旧役員の入れ代わりがあるため、研修の回数は減らせない、また、PTA連合会の活動に行政の支援は欠かせないものとなっている。</li> <li>・放課後子ども教室:少子化、核家族化、治安の悪化等、子どもの育つ環境は悪化の傾向にある。放課後子ども教室は、友達や地域の大人たちとの交流を通して様々な体験ができる、安全で安心な放課後子ども教室の居場所として定着してきた。20年度は2箇所新規開設した。</li> </ul>
教育タウンミーティング参加者数	50人	86人	35人	
文科系の外部指導員指導実績回数	378回	292回	282回	
体育系の外部指導員指導実績回数	1448回	1595回	2004回	
中学校PTA連合会実施事業(2回)	2回	-	-	
小学校PTA連合会実施事業(5回)	5回	2回	2回	
放課後子ども教室実施箇所	-	12	14	
放課後子ども教室プログラム数(1ヶ所当たり)	-	9	9	
放課後子ども教室地域関係指導者総数	-	94人	110人	

(単位:千円)

構成事務事業・活動名	実績				計画			
	平成18年度	平成19年度	伸び率	平成20年度	伸び率	平成21年度	伸び率	
一般事務経費(保育謝礼)	4	0	-100%	4	100%	25	84%	
部活動維持経費	6,437	6,516	1%	7,526	13%	7,495	0%	
PTA育成経費	921	325	-183%	443	27%	831	47%	
放課後子ども教室関係経費	-	6,226	100%	7,842	21%	8,348	6%	
社会教育指導員経費	-	9,337	100%	12,481	25%	12,580	1%	
直接事業費計	7,362	22,404	67%	28,296	21%	29,279	3%	
人件費	4,150	12,600	67%	11,900	-6%	5,880	-102%	
正規(人数)	0.5	1.5	67%	1.4	-7%	0.7	-100%	
非常勤等(人数)	0	9,300	100%	9,600	3%	9,900	3%	
人件費計	4,150	21,900	81%	21,500	-2%	15,780	-36%	
事業費計	11,512	44,304	74%	49,796	11%	45,059	-11%	
財源内訳	0	4,149	100%	5,226	21%	5,565	6%	
国・都支出金	0	0		0		0		
受益者負担	0	0		0		0		
地方債	0	0		0		0		
その他	0	0		0		0		
一般財源	11,512	40,155	71%	44,570	10%	39,494	-13%	

5. 現状の評価

Check

評価の視点	ランク	現在までの到達点
妥当性 (目的・目標との整合性・目標値の適切性)	a	部活動外部指導員派遣事業や放課後子ども教室事業については、地域人材の活用により幅広い人材を活用できているとともに、教育タウンミーティングにより地域の様々な意見を教育施策実施に反映でき、地域と連携した教育施策の実施が推進できている。
サービス水準・有効性 (顧客の視点)	a	地域人材の活用により、中学校の部活動の維持向上を図ることができるとともに、放課後子ども教室では多種多様な教室活動が展開できている。
効率性・業務改善 (財務や内部プロセスの視点)	b	地域人材の活用により少ない経費で大きな効果が得られている。
安定性 (内部プロセス、人材育成ほか)	a	各事業はおおむね安定的に運営できているが、部活動外部人材派遣事業の人材確保についてはもう少し研究や工夫が必要である。

6. 目標達成に向けた今後の取り組み

Action

	内容
重点・新規・見直し事項 * 目標達成のために、今後取り組みたいこと	安定した事業運営を維持するため、今後も幅広い人材の活用に取り組んでいく。

7. 総合評価(管理職が記入してください)

Action-Plan

現状の評価	A 大変良い B良い C普通 D悪い	B
今後の事業の注力度	A 拡充 B 継続 C 縮小 D 廃止又は根本的な見直し	A
<p>&lt;上記判断の理由と今後の方針&gt;</p> <p>教育タウンミーティングは実施回数の増を図り、多様な意見を教育施策実施に反映できるようにしていく必要がある。 PTA育成については、消極的なPTA活動の支援だけではなく、PTAと連携した家庭教育支援などより積極的な施策展開がもたらされており、そのための組織体制や経費支援なども検討していく必要がある。</p>		